

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

今年の夏は京浜地区では殊のほか暑く、8月の上旬までは雨量も少なかったため、東京では渇水の心配もあった（その点、横浜ではいつも水の心配がないのが幸せである）。幸いに、小さな台風が恵みの雨を運んでくれたので、その後は何とか水にも困らないようになった。しかし、今夏の暑さは尋常ではなかった。皆様の地方では如何でしたでしょうか。

さて、本号の特集は脳性麻痺と加齢である。「こども」のリハビリテーションの中心的課題が脳性麻痺になってから、すでに20有余年が経過した。「こども」はいつまでも「こども」であるというわけにはいかない。高齢に達しつつあるこれらの人たちの問題を真剣に考えねばならない時代になった。

そのために、今回は大都会の代表である東京、地方の代表の高知、その中間ともいえるべき宮城の3県から地域の現状と問題点を提示していただいた。また、施設、就労現場、地域医療などの今後への対応といった課題を取り上げた。全体としては、地域としての脳性麻痺への加齢対策が十分であるとは言えない面も多く残されているように思われる。この特集で述べられていることは、今後の地域での脳性麻痺の加齢に対するリハビリテーションに多くの示唆を与えているように思われる。筆者の皆様の労

を多としたい。

さて、毎号定例の講座も、実践編、一頁講座、講座と3編並ぶようになった。今回も大変興味深い講座を掲載することができた。諸兄に活用していただければ幸いである。また、巻頭言も「リハビリテーションの心を持った医師を育てろ」というお言葉と聞いた。今後、すべての医師の負うべき課題であろう。

そのほか、本号には第27回日本リハビリテーション医学会の印象記を掲載できた。今田氏の素早いご執筆のお蔭で、学会の印象の薄れないうちに印象記を読むことができた。氏の素早い対応に心から感謝申し上げます。

また、日本リハビリテーション医学会に特別講演をされた2人の先生を「ひと」欄でご紹介することができた。この欄は、ご紹介する先生の写真も楽しみであるが、短い文の中に素晴らしい紹介をして下さる先生方の文章も楽しみの一つである。今回は柴崎、渡辺両先生の心温まる紹介文を楽しく読ませていただいた。

最後になってしまったが、今回は高知県リハビリテーション研究会の報告を掲載した。各地でリハビリテーション関連の学会や研究会が活発に行われるようになってきたが、その報告を掲載するスペースが少ないのが残念である。（大川嗣雄）

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一郎
五 味 重 春
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

今 田 拓
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
齊 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 信 之
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歡
初 山 泰 弘
福 井 罔 彦
福 田 道 隆
松 村 秩
三 島 博 信
村 上 恵 一
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第18巻 第9号)

1990年9月10日発行 (毎月1回10日発行)

1部定価 1,803円 (本体1,750円)
(配送料61円)

(年ごめ予約購読料 20,640円)
(本体20,039円) (送料弊社負担)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 佐々木・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1990, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。